


# 自ら学び豊かな心で たくましく生きる生徒



しただの郷学園  
下田中学校便り第12号  
令和3年3月5日発行



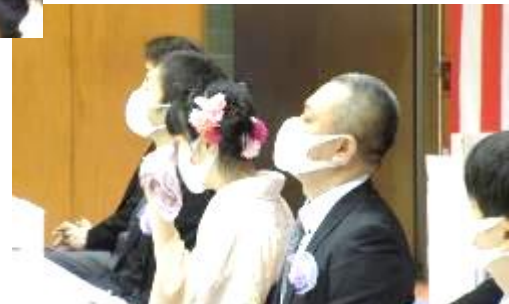
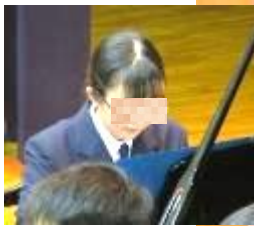
文責 校長 小林貴英

## 第35回 卒業証書授与式 ～ 校長式辞（抜粋）～

今、一人一人に卒業証書を手渡しました。マスクを外したみなさんの表情を見るのは久しぶりだったように思います。感染症防止とともにあった一年間であったことが、今改めて思い起こされます。



できないことが多かった一年でしたが、その分新しいことに挑戦した一年でした。やれなかったことを悔やむのではなく、制限のなかでも一生懸命に取り組んだことを自信にしてください。前向きに考える姿勢が、今後困難に出合ったときに、前進する力になると私は信じています。



秀嶺祭合唱コンクールで聴衆を感動させたあの歌声を、今日この後、もう一度この体育館いっばいに響かせてください。



卒業と同時に九年間の小中一貫教育の締めくくりです。小学校のときから他の小学校の友達と交流を続け、同じ学園の仲間として九年間で育んだ絆は消えることはありません。また、地域の方々は、これまで幾度となく皆さんを支え、毎日見守り続けてくださいました。

そして、時にうるさく感じた家族の言葉が、皆さんへの愛情であったことを今となれば理解できることでしょう。お世話になった全ての方々は、これからも皆さんのことを応援し続けてくれます。ただの郷を心の拠り所とし、恐れることなく前に向かって羽ばたいてください。



卒業生が未来で存分に力を発揮すること、そして、ただの郷がいつまでも旅立つ卒業生の自慢の故郷であり続けることを願っています。



仲間とともにこの状況を突破していくことから多くの事を学びました。  
日本一の中学校を築いていってください。心から応援しています。

元気なあいさつをする姿は、私たちが追い求める目標です。  
皆さんを超える下田中学校をつくれるように、さらに上を目指していきます。



下田中の規律をリードし、全校生徒の心を一つにまとめた3年生。多くの挑戦をし続け、価値ある爪あとを残してきた63名が卒業しました。最後の卒業の日においても立派な姿を見せました。起立、礼、着席の乱れない一体感は、卒業生だけでなく1・2年生の姿にも表れていました。そうして式全体が厳粛な空気を醸し出していたことを、来賓の方が褒めてくださいました。また、多くの方が、感動の卒業式であったとおっしゃっていました。

見習うべき最上級生がいることで、下学年はその姿を追いかけます。こうして下田中学校の良き伝統が受け継がれています。新たな良さを目指し、次の下田中学校がスタートします。